

中央中学校だより NEXT 自立

「気づいて、考えて、行動する」力を育む7月

これから夏にかけては、台風や集中豪雨などによる自然災害が発生しやすい時期になります。近年は、短時間で大量の雨が降るなど、これまでに経験したことのないような気象現象も増えており、日頃からの備えがますます重要になっていきます。

学校では、避難訓練をはじめ、防災教育を通して「自分で安全を考え、判断し、行動する力」の育成に取り組んでいます。登下校中や休日など、学校以外の場所で災害に遭遇することを想定し、自分の命を守るためにはどう行動すればよいかを考えることが大切です。

ハザードマップの確認や避難場所・避難経路、家族との連絡方法について話し合い、「もしもの時にどう行動するか」をご家庭でも一緒に考えていただければと思います。

9年生 高校の先生による出前授業

9年生を対象に、高校の先生をお招きして出前授業を実施しています。高校の特色や学科・コースについての紹介をしていただき、高校で行う授業を体験しました。

9年生生徒の振り返りを紹介します。

八幡高校出前授業で学んだこと

八幡高校の出前授業を通して、学校の魅力や授業の雰囲気を実感することができました。教科横断型の学習では、和食の歴史や「水」を理科・地理の視点から学び、理解を深めました。特に、日本の水質と食文化の関係を知り、社会と理科を結び付けて考える貴重な機会となりました。

若松商業高校出前授業で学んだこと

若松商業高校の出前授業では、プログラミングやケースメソッドを通して、論理的・多面的に考える力の大切さを学びました。また、地域活性化や学校行事に主体的に取り組む姿から、商業高校の特色や魅力を感じることができました。初心者でも安心して学べる環境や、実践的な学びを通して将来につながる力を育てる学校であることが分かりました。

折尾高校出前授業で学んだこと

簿記やパソコンの検定、調理や被服に関する検定など、さまざまな検定に挑戦できることを知りました。

高齢者レクリエーションは、ただ楽しむだけでなく、指先や体を動かすことで脳を活性化させたり、認知症の予防につながったりする大切な目的があることを知りました。

若松商業高校出前授業で学んだこと

お客さんに今よりも満足してもらうためには、さまざまなことを考える必要がありますが、どのアイデアにもメリットとデメリットがあります。そのため、それらの折り合いをつけながら問題解決に向けて取り組むことが大切だと分かりました。また、人との意見交換は自分の考えを広げる機会になるため、相手の意見が自分と全く違っていても否定せず、関心をもって受け止め、お互いに考えを深め合うことの大切さを感じました。これは基礎ビジネスに限ったことではなく、普段の学校生活においても必要なことだと思いました。

7年、8年生未来科校外学習 地域を知り、未来につなげる探究活動

未来科では、実際に地域へ出向き、見て・聞いて・考える探究学習を行いました。

7年生は、地域の施設や事業所を訪問し、地域の魅力や働く人々の思いについて学びました。

これから、地域の魅力を発信する活動へとつなげていきます。

8年生の未来科校外学習は、大雨で臨時休校となったため、9月に小倉の歴史や文化、まちづくりについて学び、郷土の魅力を再発見する予定です。修学旅行で訪れる京都との比較を通して、それぞれの地域の特色や文化について理解を深めます。

未来科では、「問いをもつ」「調べる」「考える」「伝える」という探究のサイクルを大切にし、自ら学び続ける力を育てています。

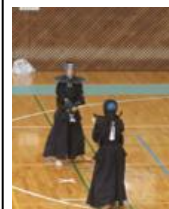
中体連・中文連の大会 努力は必ず未来につながる



中体連・中文連の大会が行われ、生徒たちはこれまで積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮しました。勝敗だけではなく、最後まで仲間を信じ、全力でプレーする姿、互いを励まし合う姿に大きな成長を感じました。



結果は大切ですが、それ以上に**目標に向かって努力を続けた経験は、これからの学校生活や将来の人生において必ず大きな力となります。**



保護者の皆様、日頃から温かいご支援、ご声援をいただき、ありがとうございます。

最後に・・・

AI やインターネットを活用すれば、多くの知識や答えを短時間で調べる時代になりました。しかし、これからの社会で本当に求められるのは、得た情報をそのまま受け入れるのではなく、「**なぜそうなるのか**」「**本当に正しいのか**」「**根拠は何か**」と問い、自分なりに考え、判断し、活用する力です。

本校では、「**自立した学習者の育成**」を学校教育の柱としています。未来科での探究的な学びや生成 AI の活用、小中一貫教育を通して、自ら問いをもち、仲間と対話しながら考えを深め、学び続ける子どもが育つ環境をつくっていきます。

答えを知ることがゴールではありません。学んだことを自分の生活や将来につなげ、新たな問いを生み出せる人こそ、これからの社会で活躍できる人だと考えています。

夏休みまで残りわずかとなりました。一日一日の学びを大切に、自分自身の成長を実感できる毎日にしてほしいと思います。